



社会民主党・会津美里町議会議員

社会民主党機関紙  
会津美里町版

# 社会新報

2019年7月号外

発行所  
社会民主党全国連合機関紙会津地区  
会津(水曜日発行)  
〒920-8500 会津美里町会津本郷1-1-1  
TEL 0242-3661171 FAX 0242-3661172  
E-mail: info@shinpo.or.jp

# さじちょういち 長一 議会レポート

2019年  
7月・号外



# 是非 こころの 一品を

2016年初頭、『パナマ文書』が流出、報道され世界中を騒がせたことを記憶されていると思います。

タックス・ヘイブンは「租税回避地」(脱税を補助し・犯罪マネーの隠し場所)で、税金のからないうちで行われていた実態が暴露されたからです。

主な地域は、ケイマン諸島、ヴァージン諸島、香港、シンガポール、ルクセンブルク、パナマなどです。

この地域は、世界中の大企業、富裕層の「税金の抜け穴」になっていて、企業はちよつと大きくなるとすぐ、そこに本社を移したり、個人は資産を隠し税逃れをしていた事実が明らかにされたからです。

そのため先進諸国は必然的に、大企業、富裕層の税金を安くせざるを得なくなる。

主要国の法人税率(関連税を含む)は、80年代には50%前後だったのが、いまは、25%前後までに下がっているのです。

我が国は、80年代60%近い法人税率が現在は30%まで下がっています。

国は企業からの税収は重要な

## なぜ消費税を諦められないのか

財源だが、大企業の税金を下げた代わりに、今まで課税対象にならなかつた低所得の中小企業にも課税せざるを得なくなっているのです。

また、富裕層にかかる税金も大幅に引き下げられました。

日本の相続税は、80年代までは最高税率75%だったのが、現在は20ポイントも下げられています。

そのために、庶民の負担割合が大きい消費税(逆進性の強い間接税)を引き上げざるを得なくなっているのです。

消費税は、タックス・ヘイブンのような税の抜け穴はない。国は、税金の逃げ場を持たない国民を追い詰めるしかなくなっているのです。

庶民の生活は真綿で首を締め付けられるようになります。苦しむようになるしかありません。

『消費税増税で教育・子育て・福祉はバラ色です』と叫ぶ声があるが、嘘です。

今回の選挙こそ消費税のいらない、不公平税制を正す選挙です。あなたの一票で!

庶民の生活を苦しめる  
消費税は  
絶対反対です!  
社 民 党

